

シリーズ・安全な実験

～ガラス器具の洗い方～

ガラス器具はしっかり洗わなければ薬品が残ってしまうため、実験で使用した際に結果が異なってしまう可能性があります。また、器具によって扱いも異なるので注意しましょう。

■試験管

試験管を洗う際は、台所用洗剤を使用するときれいに洗うことができます。少量の台所用洗剤を試験管の中に入れ、内側や外側を試験管ブラシで丁寧にこすりましょう。試験管の中が白く泡立つため、どこまで洗われているのかが一目でわかります。最後に、泡を落とすように水ですすぎましょう。また、仕上げとして、蒸留水ですすぐとよりきれいに洗うことができます。



図1 試験管を洗う

※台所用洗剤は界面活性剤が含まれているものを使用しましょう。界面活性剤は、試験管ブラシで試験管をこする際にできる傷を防ぐはたらきがあります。

■駒込ピペット

駒込ピペットは水（蒸留水を用いるとなお良い）を吸う、出す作業を何度か繰り返して洗いましょう。また、ゴムを取り外す際はゴムをめくる、ゴムを取り付ける際はガラスの後端を水でぬらすと取り付けやすくなります。

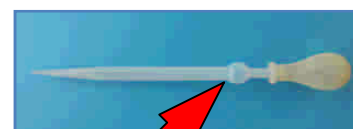


図2 駒込ピペット

※駒込ピペットの中央部分にはふくらみがあります。この部分を手で握ると、手の熱で管内の空気が膨張し、管内の液体を最後の一滴まで取り出すことができます。

■メスシリンダー

メスシリンダーのように体積を測る器具は、ブラシでこすってしまうと傷が付き、測定結果が変わってしまう可能性があります。中の液体を水で洗い流し、最後に蒸留水ですすぐときれいに洗うことができます。



図3 メスシリンダー